



新緑の清里をバスと小海線で巡る 現地ガイドつき



自然休暇村紹介事業（日帰り） 参加者募集

羽村市から片道2時間弱、雄大な自然に囲まれた八ヶ岳南麓。中でも観光名所が集まる山梨県北杜市の清里高原に羽村市自然休暇村はあります。

今回、休暇村周辺の観光スポットを巡り清里的素晴らしい、休暇村の施設を知つていただくための日帰り紹介事業を行います。

日 時 5月26日(金)午前7時30分～午後6時
(予定・雨天決行)

集合・解散場所 羽村市役所

行 程 バスで北杜市へ移動、小海線へ乗車し、野辺山へ向かい「国立天文台」「清泉寮」などを巡ります。今回は初めて「大門ダム」(解説付き)にも立ち寄ります。自然休暇村での施設見学後、昼食をとります。昼食は、休暇村自慢のミニ懐石料理です。

※行程について詳しくは、募集チラシをご覧ください。

対 象 市内在住・在勤・在学の18歳以上の方(複数での申込みの場合は1グループ4人まで)で、過去に自然休暇村の体験事業(日帰り・宿泊)に参加したことのない方

定 員 22人(最少催行人数10人)

※応募多数の場合は公開抽選で参加者を決定し
5月12日(金)までに電話でお知らせします。

参加費 1人2,000円(当日現地でお支払いいただきます。小海線運賃別途負担500円)

※5月19日(金)以降にキャンセルした場合は、参加費の全額をお支払いいただきます。

申込み・問合せ 5月10日(火)午後5時までに、電話・ファクス・Eメールまたは直接地域振興課地域振興係内 203へFAX 554-2921
✉ s107000@city.hamura.tokyo.jp (電話・直接の場合は土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時)

※Eメールの場合は、件名を「5/26申込み」、本文に、参加希望の方(グループ全員)の「住所・氏名・生年月日・年齢・性別・電話番号」を入力してください。

※募集チラシは、市公式サイトに掲載するほか、市役所1階案内・2階地域振興課窓口、市役所各連絡所で配布しています。

※参加者には、自然休暇村の利用促進を目的とした簡単なアンケートに協力していただきます。

市民ボランティア 交通安全活動講習会

参加者募集



講 師	福生警察署員
※直接会場へお越しください。	
※駐車場には限りがあります。公共交通機関などをご利用してください。	
問合せ	防災安全課防犯・交通安全係内 216

自転車のルール

問合せ 防災安全課防犯・交通安全係内216

自転車は、手軽で、環境負荷が小さく、健康増進効果が期待できる乗り物です。しかし、自転車は車の仲間。交通ルールやマナーを守り安全に利用しましょう。また、損害賠償責任保険などに加入しましょう。

①自転車は、車道が原則、歩道は例外

自転車安全利用五則

 知っていますか？

■ 車道と歩道の区別があるところでは、車道通行が原則です。しかし、次の場合は、例外として歩道を通行できます。

- 道路標識などで認められている場合
- 13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な方が運転する場合
- 道路工事や駐車車両などにより車道の左側を通行することが困難なときや、車の通行量が非常に多く危険な場合

②車道は左側を通行

■ 自転車は、車道の左側に寄って通行しなければなりません。右側通行は禁止です。ただし、二重線以外の路側帯であればそこを通行することができます。

▶ 二重線の路側帯





②車道は左側を通行

- 13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者、身体の不自由な方が運転する場合
 - 道路工事や駐車車両などにより車道の左側を通行することが困難なときや、車の通行量が非常に多く危険な場合

⑤ 予どもはヘルメットを着用

- 傘差し、携帯電話やイヤホン、メー
ルをしながらの運転は違反です。

■保護者は、13歳未満の子どもを自転車に乗車させるときや同乗させるときには、乗車用ヘルメットをかぶらせるようにしましょう。



①自転車は車道が原則、歩道は例外

- ## 自転車安全利用五則

④ 安全ルールを守る

- 自転車が歩道を通行する場合は、車道寄りをすぐ停止できる速度で徐行し、歩行者の通行を妨げてはいけません。歩行者の通行を妨げる場合は、一時停止するか自転車から降りて細して歩きましょう。

TSマーク制度

T Sマークとは、自転車安全整備士が点検整備した自転車に貼付されるもので、このマークには、賠償責任保険と傷害保険が付いています。

T Sマーク取扱店で自転車を購入したときなどに、点検・整備を受け点検・整備料を払うと、T Sマークが貼られます（有効期間1年）。

みんなの迷惑！自転車放置

「少しの時間だから」「みんなも置いているから」といった軽い気持ちで自転車を放置すると、次のようなことが起こります。

 入って安心！損害賠償責任
保険へ加入しましょう